この物語は、
栄光、そして挫折を味わい、
今、再び這い上がろうとする一人の男の人間ドラマである。

江成公隆のトーナメンター、復活への道。

text and photo by Kimitaka Enari and Satoshi Tanaka

業界初、Web連動企画！ いよいよ開幕！ （URL）http://hcear.yokohamatsurumi.net

〈Vol.76〉

続き…

先月号にて「残り3回」となった「トーナメンター復活への道」。
文中にもあるとおり、その顛末にはもう触れなくていい、とアニキにも言ってあったのだが、やっぱりそうもいかなかったようだ（苦笑）。まあそこらへんは読者のみなさんも知りたいところだろうし、クールにいって「ジャパンカップ予選攻略云々…」みたいな記事になってもアニキらしくないし、よしとしましょう。吐き出すものは全て吐き出さないと終われない、というアニキの性格もあるだろうし…。

by里ちん

ニカ月ぶりの執筆。

読者の皆様、たいへんお騒がせし、また、ご心配をおかけしましたことを心よりお詫びいたします。

それにしても、先月号の僕のカットは、「もうちょっとマシな顔してるやつはなかったの？」って思うくらいで、「すっかり元気になって」とはほど遠い印象だった。それでも何枚か撮ったうちのベストショットだったのだろうか。

里ちんと会ったあの日の僕は元気だったつもりだし、8月号を書いた時点は元気だったとは言わないが、ギリギリで「向こう側」にはイっていないと自分では思っていた。そうなることを回避するために考え抜いて選択をしたつもりだったし、今でも元気だと思っている…。

里ちんからは、連載終了の顛末にはもう触れなくていいからと言われた。ジャパンカップに挑戦して華々しく復活（散る!?）する記事を書いてくれ、と。

ところがジャパンカップ予選は残念ながら、今回のネタには間に合わない。まだ開催されていないからだ。

申し込みもまだ済ませていない僕にとって、9月27日の椎の木湖での関東B大会しか残されておらず、スケジュール的にはちょうど12月号の原稿になる。すなわち最終回。毎週通って密かに予選突破を目論むというのも一瞬頭に浮かんだが、そもそもそれが出来るような状態なら連載をどうしようかなんて悩むことにはならなかったわけだし、「月イチで」を標榜してきた僕らしさが全くない。

こうなると、よせばいいのに今月は、8月号の続編になってしまうのはやむを得ない。

夏覚。

この二カ月間は、本当に揺れた。

毎月のVOICEに僕の記事への反響はほとんどない*から、全く予想もしていなかったが、連載終了宣言の波紋は自分の考える以上に大きくて、電話とメールで僕の携帯が鳴らない日はなかった。それでもナリーズのメンバーは、僕にとっての7月は例年でもクソ忙しいのを気遣ってくれて、あまり電話はなかったが、1回の電話で僕を必死に説得しようとする熱意には心打たれるものがあった。

8月号で僕は、「釣りを悪者にした覚えは全くない」が、ざっとしか読まない読者にはそう映るという指摘を受けた。そうなのかもしれない。「あのまま終わったら読者に申し訳ないと思いませんか?」という指摘には、正直、そうなのか?と思った。言い換えれば、僕にそこまでの責任がすでに生じているという指摘である。僕は今までの発言や行動を振り返って考えてみた。僕はちっぽけな人間だ。しかも、所詮、趣味の世界である。こんな僕を拠り所としている人が、いったいどれだけいるというのか…。

ただ、確かに逃げるような終わり方だったかもしれないが、「実際問題、あそこからどうやって繋げればいいの?」っていうくらい自分としては「これで最終回だ」と思って書いた。こんなに続投の脅迫?があるとは思いもしなかったから、悩んでしまった。

「格好悪い自分」は、8月号だけでなく、それまでにもさんざん曝け出して来たつもりだから、今さら格好つけたいとは思わない…ともなくて、自分の価値観的には今月号を書いていることはかなり恥ずかしい事態である。

今までさんざん世話になった里ちんへの義理を欠かないためには書かざるを得ない、という結論のもとにようやくパソコンに向かい始めたが、「何でも長がつくポジションは辛くて当たり前なんだよ。江成君の場合はクラブの会長っていう普通の人にはないものまであるけどさ。常にカッコ良く行動してくれよ」という、ある友人からの言葉も引っかかったままだ。

では、7月号までの僕はカッコ良かったのだろうか…。

格好悪いところを平気で曝け出す「強さ」という格好良さが、世の中にはあるかもしれない。僕もそういう価値観を唯一の拠り所にしてきたのかもしれないとは、今頃になって思う。他人に指摘される前に自分から曝け出してしまうことで、恥ずかしさを消し、うまくいけば自信に換えてしまうというマジックのような方法論だが、どうだったろう。とりあえず僕は、結果を予想しないで精一杯やってきたつもりではある。

*里ちん註：読者プレゼントがない記事へのハガキは少ないもんなんです。でも、アニキの記事への反響（罵声?）っていうのは、現場で肌で感じておりました（泣）。

2008年9月23日（秋分の日）開催!!

友部湯崎湖 19周年謝恩大会

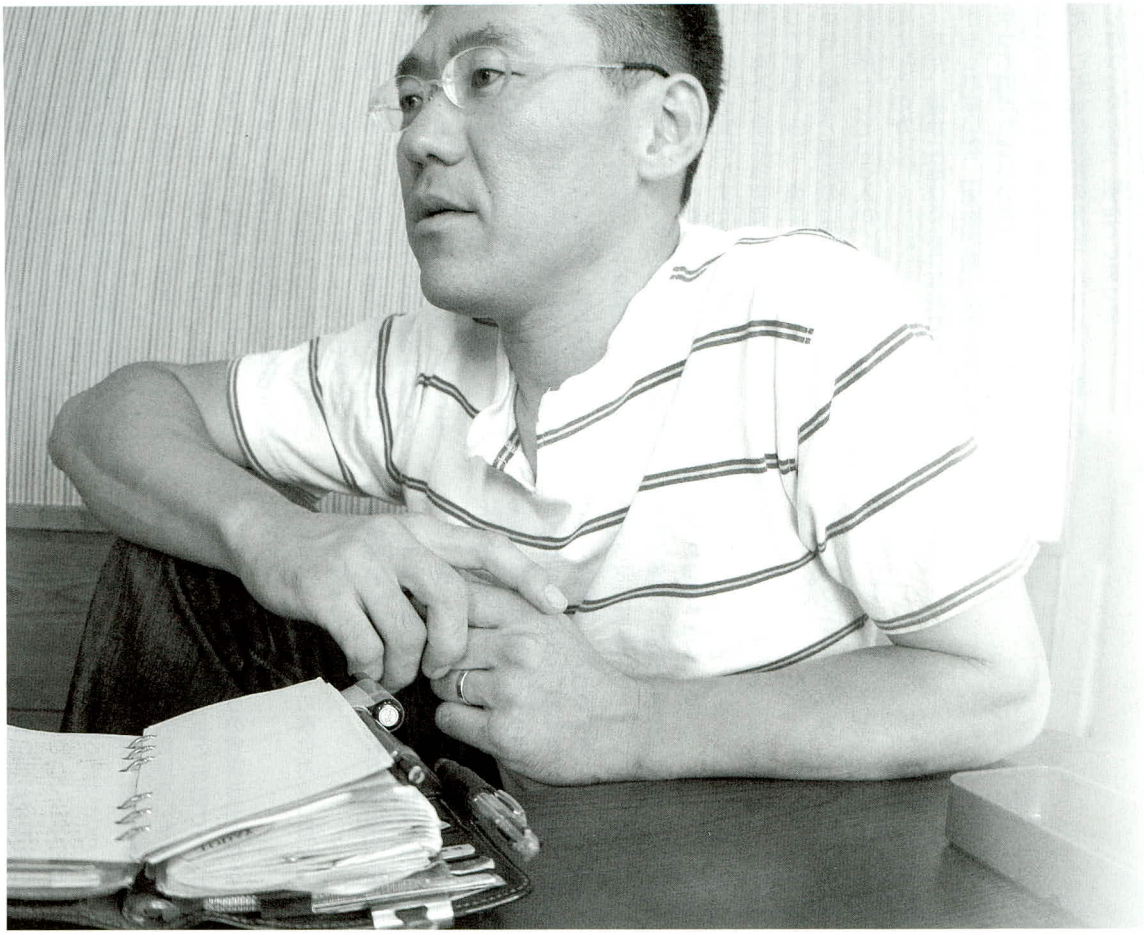
参加費　4000円
募集人数　250名
当日受付　5時30分～6時30分
競技時間　7時～14時
競技規定　○竿8尺～18尺まで ○タナ自由 ○1フラシ12kgカット ○スレ取り禁止
応募方法　湯崎湖にて前売り券をご購入か、現金書留にてご応募下さい
※なお、前売り券の払い戻しはできません

試釣サービス実施！

前売り券の購入特典として、大会前日まで1日2000円のところを1700円に致します。回数に制限はございません。
※ご利用の際は受付にて前売り券をご提示下さい

※前売り券 好評発売中！お早めにお買い求め下さい

お問い合せ先
茨城県笠間市湯崎1099-5 ☎0296-78-0127



間（ま）。

九州の大竹（照夫）君から電話があったのは、8月号を脱稿した翌日のことだった。

着信したときの表示はゴールデン時代の先輩である小川君で、電話に出た声が大竹君。最初はワケが分からなかったが、出張中の小川君が博多で大竹君と飲んでいたのだ。ちなみに以前クラブ対抗に出たのはこの3人で、である。

「なんか江成君ばっかり頑張っててごめんね。二人ともいつも応援してるからさ…」

いや別に、僕はそんなに頑張ってないし。好きなように生きているだけだし…。

すごく嬉しかったけれど、このタイミングは何だろうと考えてしまっていた。

8月号では大事なものを捨てることにしたのだと書いた。大事だからこそ、僕には当然ながら連載には未練があったわけで、自身の選択に迷いがなかったわけではない。だから僕は、里ちんにこの出来事を告げた。

「それはここでやめるなってことですよ」

もちろんこれは期待通りの答えだった。ところが、

「じゃあやっぱり続けちゃうか♡」

とは即座に言えなかった自分がいた。結局、後日あらためて会う約束をして、電話を切った。

極端な思考回路は生まれつきである。

いつも店を広げるだけ広げておきながら、結局は何事も中途半端なのも僕の性分。ところが家族や仕事は中途半端には出来ない。全てがマイナス思考に陥っていた8月号執筆当時の僕には、あの選択しかなかったのだろうと思う。

僕ひとりのものではないナリーズは畳まないし、やめないとちゃんと書いたのだが、「連載を持っている会長に期待するものの重み」を軽視していたことには気付かされる事態となった。会員がみなミーハーだとは言わないが、僕の連載がなかったら存在し得なかったクラブであるという現実を忘れていた気がする。

家族への罪悪感は、ぶっちゃけ文章にして発表してしまったらかなりすっきりしていたし、女房も原稿を読んで笑っていたのを受け、「やっちまったかなぁ…」と感じていたのも事実だが、僕は中途半端なくせに、かなりの頑固者でもある。

家族旅行その1。

旅行というのはどうかと思うが、実は母方の兄弟の長男が亡くなり、7月17日、18日は甲府にいた。

20年以上ぶりに顔をあわせたいとこや叔父、叔母との会話は完全にタイムスリップ。40近い僕を捕まえて、

「きぃちゃん、おっきくなったねぇ」

とはいえ僕も、40過ぎの従姉に向かって「おねえちゃん」という言葉が自然に出た。

母方のいとこ達とは、小さい頃からよく遊びにいっていたためにとても仲が良かった。亡くなった叔父の家の裏の山に千代田湖があり、釣り宿としても利用させてもらったため、高校生くらいまでお世話になった。その頃はへらからは完全に遠ざかっていて、狙いはバスだったけど。…懐かしい思い出が甦る。

親戚の葬儀は、祖父母以来はじめてだった。おふくろの兄弟にしてみれば、いよいよ自分達の番が到来したということになるわけで、再会の懐かしさと同時に重い空気も同居していた。いとこ同士の間でも、これからはちょ

くちょく顔を会わせることになるね、などとトンデモな会話をした。

段取りがあるおふくろは先に現地入りしていたが、親父と僕は、あずさに乗って甲府へ向かった。親子で電車に乗るのは何年ぶりだろうか。そしてきっと最後の旅になることを確信した。

棺の中の叔父の顔は、遠い記憶の中の祖父にそっくりだった。叔父の長男で喪主の従兄も、顔だけでなく、仕草までが叔父にそっくり。これが、血であり、ルーツというものだろう。

80過ぎの父親の葬儀でも、涙をこらえることが出来なかった従兄。僕の中にも同じ血が何割かは流れているのかと思ったら、なんとも言いようのない感情が湧いた。

もともと7月17日は里ちんと会う約束の日だった。連載をやめるのか、続けるのか。一度は下した決断だが、仲間の声、自分の本当の気持ちはどこにあるのか…揺れていた僕は、気の済むまで里ちんと話をするつもりだった。もちろんアルコールも入れて。だから連休を設定していたのだ。でもそれは叶わなかった。二時間という短い時間の中で僕は、「家族のために下した決断」を反古にする糸口は見つけられなかった。

僕は結構ロマンチストである。運命という言葉が頭を過ったが、それはいくらなんでも感傷に浸り過ぎか…しかし、結論はすでに出たのだ。僕は急いで駅に向かった。

17日の晩は、もしかしたらはじめてかもしれない親父と二人きりの酒と洒落込もうかと思ったが、家族水入らずの晩餐としては最後になるかもしれないチャンスに、おふくろを呼ばないのはあまりにも可哀想である。結局、出戻り切れずに姉である僕のおふくろ夫婦宅に入り浸っていた叔母も交えて4人で飲んだ。小さい頃さんざん僕をかわいがってくれた叔母も、僕にとっては大事な家族だった。間違いなくこの4人でテーブルを囲むのは最初で最後だろう。そんな思いが、日中の里ちんとの時間を完全に封印してしまっていた。

家族旅行その2。

クラブ対抗予選とナリーズ8月例会で、8月2、3日は休みを取ってあった。しかし、平山幹事長の気遣いで、「思い切って休めよ」と。家族旅行でもして来なよということになっていた。

悩んだが、女房に提案すると大喜びで、アっという間にネットで宿の手配を済ませてしまった。しまった、なんて書くと、これを読まれたときにまたもめそうだから書いておくが、とても楽しい家族旅行であったし、後悔なんて全くしていない。平山氏に感謝だ。

ただ、この時の女房のリアクションは意外と言えば意外だった。今までだったら「その気もないくせに無理すんな」と一言二言ありそうなものだが、それが今回はなかった。やはり余裕がないのは彼女も同じだったのだろう。ただでさえ大変な子育てに加え、僕の日頃の行いが彼女にとって限界まできていた事実。そしてそれに気付けたこと…もう後戻りは出来ない気がした。

隼人大池で行われたクラ対一次予選は、ナリーズとして参加した2チームとも無事通過することが出来た。

メールですぐ知らせてもらったので、旅行中に知っていた。金勝杯でノッている平山氏と、フォーラム侠の遺伝子を持つ岡田のみっちゃんがいるAチームは問題ないとしても、昨年ジャパンカップ全国経験者の木村氏がいるとはいえ、新人2名を擁するBチームが気掛かりだったが、そんな心配は杞憂だったようだ。クラモッティこと新人・倉持氏が、6名中最高釣果で貢献。自分が出られなかったことは残念だが、会員の頑張りは本当に嬉しかった。ナリーズは大丈夫だ。

ナリーズA　平山敏郎　平山君枝　岡田光浩
ナリーズB　木村浩重　倉持昌行　山上健太

詳細は一般公開中の、「ナリーズ副会長のブログ」へ！

http://naries.blog.ocn.ne.jp/naries/

そして現実。

副会長からは転職を勧められている（笑）。釣りどころか家族サービスさえままならないんじゃないかっていう状況に向かいつつある中、正直言って、ジャパンカップの予選も出られるかどうか分からない状況になってきた。精神的にはかなり楽になってはきたけれど。

とにかく今、思いっきり釣りがしたい。で、出来れば偏差値低いへらを、時間30とか40とか、ひたすらハメたい（苦笑）。

釣番付

料金表

50名まで	55,000円
51名～75名	60,000円
76名～100名	65,000円
101名～125名	70,000円
126名～150名	75,000円
151名～175名	80,000円
176名～200名	85,000円

・仕上がりは黒一色です
・人数は成績表部分のみ数えます

書体見本

1.ぐりへら鮒会
2.ぐりへら鮒会
3.ぐりへら鮒会

・番付をインターネットで公開できます（無料）

お問い合わせご注文はお早めに！

取扱店：柴　舟　03-3613-2727

ウキや小物の銘入れに

転写シール

初回注文黒一色、300銘で8,500円～
2回目以降同じものをご注文の場合は3,500円～

・8書体、8色を御用意しています
・角印も作れます

取扱店：
柴舟（東京都江戸川区）
03-3613-2727
佐伯釣具店（神奈川県川崎市）
044-911-3722
SANSUI川づり館（東京都渋谷区）
03-3499-5025
フィッシング中原（神奈川県川崎市）
044-711-8266
鮒仙人（神奈川県川崎市）
044-287-7470

お問い合わせ、ご注文は各取扱店または下記HPまでどうぞ

office27
あとりえぐり

http://www.office27.com
E-mail:info@office27.com

へら鮒釣りの楽しさを追究し続ける…

へら鮒

九隻

Monthly fishing magazine herabuna

No.514
Oct.2008
10

平成20年10月1日発行（毎月1日発行）第43巻 第10号 昭和41年5月4日第三種郵便物認可

休みの日は、
この銀鱗に
会いにゆく。

特集

僕達は、日曜日に釣りに行く！
“日曜日の達人” 橋本幸一が三島湖で伝授する、
超食い渋り脱出のヒント!!

日曜日を紐解くヒント。

へら鮒
2008
10
昭和41年5月4日第3種郵便物認可
第43巻第10号（毎月1回1日発行）
平成20年10月1日発行

日曜日を紐解くヒント。 橋本幸一

定価 一〇〇〇円 本体九五二円
㈱へら鮒社

つれるエサづくり一筋
マルキュー

原点は不変。

私が常にバッグに入れているエサ、それが「バラケマッハ」。
愛用し続けている理由のひとつは"ボソ感"。
「マッハ」はエサを軟らかくしてもボソが残り、
しっかりバラケるので、へら鮒からの反応がすこぶる良い。
ふたつ目の理由は、"コシのあるタッチに仕上がる"ところ。
へら鮒が大型化している昨今、
ペトッとしたタッチのエサよりも、
コシのあるタッチのエサの方に分があり、「マッハ」なら、
このコシのあるタッチのエサが簡単に作れるようになる。
だから私は、「マッハ」を決して手放さない。

横山天水

●バラケマッハ 700g スライダーチャック袋

マルキュー株式会社
〒363-8509 埼玉県桶川市赤堀2-4
お問い合わせ 本社・桶川工場:048-728-0909 大阪支店:072-824-0909
四国営業所:0877-44-0909 九州営業所:0942-82-0909
ホームページアドレス http://www.marukyu.com/
釣り場でエサに困ったら iモード・ホームページ http://www.marukyu.com/i
釣れるヒント満載!! へら鮒天国
マルキューホームページ内の「へら鮒天国」では、新鮮な釣果情報を掲載中。あなたのお気に入りの釣り場の情報が、見つかるかも。
http://www.marukyu.com/ マルキューへら鮒メールマガジンも、お申込はこちらから。

雑誌 07907−10
4910079071084
00952

へら鮒
http://www.herabuna.cc/
10月号
Oct.2008 No.514

▶今月の表紙◀
field：松原湖
photo＆layout：本誌・里

■■カラー■■

26 石井旭舟 へらぶな浪漫街道
《第六十八回》滋賀県 西の湖

32 小池忠教 激釣テクニカルアドバイス
《第9回》【激釣のリズム】戸面原ダム ゲスト・福冨大祐さん

41 生井澤 聡 挑戦者魂
《第9回》【千葉県・浜野HC】

48 杉山達也 ULTLA SPLASH
《第8回》賞金大会V in 吉森へら鮒センター

54 中澤 岳 攻めの美学
《Case.8 松原湖》高原の湖でチョーチン両ダンゴ攻め！

60 早川浩雄「鉄壁・早川スタイル」
《第15回》豊英湖、夏のチョーチン～浅ダナ

62 ★AREA REPORT
みのわだ湖（埼玉県） 本誌・伊藤洋一
63 上津ダム（奈良県） 前田誠志
64 本庄池（福岡県） 河口正伸

134 竹竿の似合う釣り場
《第8回》新治堰

138 田辺哲男 MYへら道
《へら道その十六》【超ウィード密集エリアで釣りたい！】明秋

144 戸張 誠 激釣の余韻
《第7回》【精進湖、反撃】

150 小林恭之 ノルマでGO!!
《第8回》三名湖で70kgを釣れ!!

154 天野正由 緑萌ゆる釣り場を巡る
《第9回》涼を求めて精進湖へ

158 2008 東レ将鱗へらぶなカップ 関東大会 羽生吉沼

160 釣り人のお仕事
《第7回》ゲスト 志水良規さん

193 棚網久 全開MAX
《第8回》奥日光、丸沼へ!!

200 NEO-HERA Pro League 2008 第三戦【三名湖】

202 北川穂積 西の交友録
《第三十三回》ゲスト・小泉氏 釣り場・千種川（兵庫県）

204 PRIME AREA HERA FESTA 2008 吉羽園

205 釣り味
《第20回》【ラーメン にのみや】パイコーメン

206 釣果予想クイズ

208 フィッシングレディ
《今月のレディ》渡部麗子さん 椎の木湖

■■モノクロ■■

66 特別企画 都会のオアシス、再発見。水元公園内溜

72 へら鮒釣り 超基本講座
《第44回》Q＆A編

77 椎の木湖主催 夏休みジュニアへら鮒釣り教室

78 ダン 釣り教室「名人塾（底釣り）」椎の木湖

86 ガチンコ道場
《第35回》若さでスプラッシュ！ Bチームの快挙!?
マルキュークラブ対抗・隼人大池予選

98 江成公隆のトーナメンター、復活への道。
《Vol.76》続き…

102 水辺のプラネタリウム 吉本亜土
《今月の星空》「大阪らんちう」

106 最狂へラ戦士養成所 "鮒の穴" 漢タカハシ
《第68回》ヘルニア国物語 第2章「Drモローの陰謀、再び…」

110 へら鮒Cafe 西田美明
《Vol.10》「うさぎ追いし、かの山」

114 永久釣りバカ宣言。斉藤心也
《第10回》「マルキューチャンピオンカップ!!」

116 水と戯れ、風と遊ぶ ホワイト
《第22回》「原点」

118 野田幸手園新聞

120 投稿 水無月会 in 淡路島 久住博宜

124 ★AREA REPORT
みのわだ湖（埼玉県） 本誌・伊藤洋一
126 札野池（愛知県） 後藤 誠
127 上津ダム（奈良県） 前田誠志
128 本庄池（福岡県） 河口正伸

161 ワクワク管理釣り場情報

170 小売店情報

175 ★へら鮒BOX
里ちゃんのイケイケ編集長雑記

176 情報発信基地

179 投稿 マルキューチャンピオンカップ参戦記 松本博明

180 ボイス

187 コラム『日研だより』 日研広報部長・遠藤亮己

188 コラム『上村流！』 上村恭生

189 コラム『紀州 "想いの竹" のものがたり』 中峯伸行

190 プレゼント発表

191 広告索引

192 編集後記

p.14
特集
僕達は、日曜日に釣りに行く！
"日曜日の達人" 橋本幸一が三島湖で伝授する、
超食い渋り脱出のヒント！
【日曜日を紐解くヒント。】

釣り場割引クーポン券 p.163～

野田幸手園 椎の木湖 清遊湖 谷和原大沼上尾園
F.A吉羽園 谷養魚場 将監 柳生FP 筑波白水湖
泉堰 逆井HC 友部湯崎湖 三和新池 川越FC
鳥羽井沼大上へら池 霧の沼 小川つり堀園 府中HC
清川つくしFC 千代田湖・舟宿 千和 相模湖・釣舟 五宝亭
相模湖・釣舟 天狗岩 吉森HC 甲南へらの池
当麻池 水藻FC朝日池 釣り堀八十八 浜野HC
精進湖・舟宿 金風荘 西湖・釣舟 白根 西湖 釣り宿 丸美
西湖・釣り宿 青木ヶ原

STAFF
●発行人
根本百合子
●編集長
田中里史
●編集部
大場勝良
諸冨一秋
伊藤小百合
伊藤洋一
●へら鮒NET
根本大作
八十田昌広
●企画
〈オフィス・えふ〉
藤原 肇

※岡田 清「Deep Side Angle」は、誌面の都合によりお休みさせて頂きます。